

サビエル生誕五百年



シュリーマン

トロイ遺跡の発見者
あるドイツ人のハイ

ンリッヒ・シュリーマ
ンは一八三二年、貧し

い牧師の子どもとして
生まれ、父親から「ホ
メロス」の物語を聴か
され、幼いながらもト
ロイ遺跡の実在を確信
したとい

う。

トロイの遺跡を発見したシュリーマン



大人にな
つたら自分
の手で発掘
することを
決意し、そ
の夢を見事
に実現させ
たのだから
すごいの一
言に尽き
る。世界史
の時間にシ
ュリーマン

の話聴き、心を躍ら
せたのは私だけではあ
るまい。

そんな刺激もあつて
学生時代、車で世界一
周の企画をたて、同志
三人と共同生活までし
た。しかし、支援して
くれるスポンサーも見
つからず断念。

その夢を「地図の部
屋」というエッセイに
まとめた。これを放送
作家の恩師、西澤實氏
に激称されたことは、
若きころの数少ない誇
りのひとつである。

とにかく、シュリー
マンは私には特別な存
在であった。商才にた
け、若くして財をなし
た。そして幼少からの
夢、トロイ遺跡の発掘
に取りかかったのは四
十八歳、一八七〇年の
ことである。

で作業を中断させた。
きょうは自分の誕生日
だからと作業員を全員
帰らせ、二人だけで宝
物を発掘し、スカートの
中に隠して宿舎に持
ち帰った。

そして、こっそり船
で国外に持ち出したの
だが、オスマン・トル
コ政府の知るところと
なり、裁判にまで発展
した。

発掘を続行したいシ
ュリーマンは罰金一万
フランのかわりに五万
フランを寄付すること
で発掘の権利を保つ
た。トロイの宝物は妻
ソフィアの着飾った写
真とともに世界的に有
名になった。

シュリーマンはホメ
ロスの叙事詩から別の
遺跡も発見しており、
私物化したとがはあ
るものの、その功績は高
く評価されるべきだ
う。

余談だが「神父」と
「牧師」を混同してい
る人が意外に多い。神

発掘した宝物を身につけたシュリーマン夫人



父はローマ・カトリッ
ク教会の司祭のことで

妻帯は許されない。一
方、牧師はルターの宗
教改革に始まり、カト
リック教会から分離し
たプロテスタント教会
の司祭のことで妻帯を
許されている。

最後に、シュリーマ
ンによってトルコ国外
に持ち出されたトロイ
の宝物の件だが、最初
はギリシャのシュリー
マンの家に隠された。

その後、イギリスに
運ばれ、展示される。
一八八一年にはシュリ
ーマンの祖国ドイツに
運ばれ、そこで展示さ

れた。

第二次世界大戦でド
イツが敗れると、今度
はロシア軍によってモ
スクワに持ち去られ、
一時行方不明となる。

現在はロシアのプー
シキン博物館に展示さ
れ、ロシア、ドイツ、
トルコ、ギリシャが所
有権を主張している。
素人考えではある
が、トロイの宝物はト
ルコに展示すべきであ
り、不法に持ち出した
シュリーマンも、それ
が一番良いと思ってい
るに違いない。
(元山口放送取締役ラ
ジオ局長)